

# うみもりそら

ニュースレター第15号

## 見えないものを見つめるひととき

いつもみんなのそばにいる「風」。見えないけれど、肌で感じたり、音を聞いたり、木の葉が揺れるのを見たりして、私たちはその存在を知っています。このワークショップでは、そんな見えない風を、ことば、おと、いろ、そして絵を使って、自分だけの形に「見える化」してみましょう。みんなの心の中にある、特別な風を見つけにいく、創造の旅に出かけます。

## ワークショップの概要

テーマ：石垣島の風はどんな色

開催日：2025年8月9日（土）  
10:00～12:00

対象者：小・中学生の親子

場 所：NPOうみもりそら石垣オフィス（沖縄県石垣市野底889-1）

## 謝辞

本ワークショップは、島のたくさんのお母様方の協力と広報によって実現できました。ここに感謝の意を評します。



## 石垣島の風はどんな色

石垣島に吹く海風と山風を「色」で捉え、オリジナルアート作品を生み出すユニークなワークショップを実施いたしました。

私たちが日常的に肌で感じている風には、実は豊かな表情があります。日本には古くから風を表現する言葉が数百種類も存在し、八重山諸島の島言葉においても、この土地特有の風にそれぞれ固有の名称が与えられています。石垣市立図書館での調査では、20を超える風の名前を確認することができました。

今回のワークショップでは、参加者の皆さんに石垣島の風を五感で直接体感していただき、その印象をアート作品として表現することに挑戦していただきました。特に「色彩」に着目し、各参加者が感じ取った風のイメージを最も的確に表現する日本の伝統色を2～3色選択していただきました。選んだ色を調合し、白い扇子をキャンバスとして、葉や草花、サンゴの欠片などの自然素材に色を施し、それらを使ったプリンティング技法で作品を完成させました。





一人ひとりが抱く風のイメージの多様性と豊かさを、改めて深く実感する貴重な体験となりました。



このワークショップの目的は、「風」というキーワードを通して、石垣島の風とともに生きてきた暮らしの歴史や文化の一端に触れること、風にはストーリーがあること、風という見えない存在を「扇子」という風を生み出す道具に色で見えるかすることでした。親子で参加していただいた皆さん、そしてそれを支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。



## 事務局

特定非営利活動法人 うみもりそら

東京オフィス  
〒169-0072  
東京都新宿区大久保2-17-34  
Tel : 03-3208-5298  
Mail:npoumimorisora@gmail.com

石垣島オフィス  
〒907-0333  
沖縄県石垣市野底889-1

